

第9回 脱炭素WG グリーン打ち出し等について

2025年1月7日

2025年日本国際博覧会協会
持続可能性部脱炭素課



万博でのグリーンな取組み(脱炭素、資源循環)シンポジウム(仮)

■趣旨・目的

万博での脱炭素、資源循環等の持続可能性に関する取組みは、未来社会ショーケース事業だけでなく、公式参加者や非公式参加者等様々な主体で実施されており、これまでの発表では全体像が分かりづらい状況となっており、外部の方から全体像を知りたいとの意見も頂いている。

本イベントで、持続可能性に関する万博での先進的な取り組みを紹介することにより、万博への期待感を高め来場につなげるとともに、万博のレガシーとして行動変容につなげていきたい。

■概要（予定）

* 日時：2025年1月31日(金) 13:00-16:00 場所：大阪市内

* 進行イメージ

【前半】1時間

- ・会場内でのグリーンな取組み(脱炭素・資源循環)に関わる取り組み説明 (15分)
- ・公式参加者の取り組み紹介 (40分)

【後半】約2時間

- ・水素をテーマにした講演 (15分)
- ・パネルディスカッション (90分)



万博でのグリーンな取組み(脱炭素、資源循環)シンポジウム(仮)

時間	演題	登壇者
13:00 - 13:20	万博でのグリーンな取組み紹介	持続可能性部 永見部長
13:20 - 13:40	公式参加者のグリーンな取組み紹介①	(調整中)
13:40 - 14:00	公式参加者のグリーンな取組み紹介②	オランダ アイノ・ヤンセン プロジェクトディレクター
14:10 - 14:25	水素：行政の直近の状況と万博に期待すること(仮)	経済産業省 資源エネルギー庁 水素アンモニア課 廣田課長
14:30 - 16:00	パネルディスカッション 水素事業の情勢と万博での取組み、将来ビジョンについて(仮)	[座長] 大阪大学 下田先生 [パネリスト] 関西電力 水素事業戦略室 出口部長 川崎重工業 水素戦略本部 上野課長 (1団体 調整中)



グリーン万博 協賛事業一覧

事業名称	協賛企業(構成員除く)
情報発信ステーション（バス停）建設 及び 持続可能性に資する情報発信	関西電力
ネガティブエミッション実証プラント (DACベンチスケールプラント)	RITE
冷熱を活用する DAC 連続試験装置の展示	名古屋大学
DAC-U装置稼働実証	九州大学
e-メタン	大阪ガス
「Na-Fe系酸化物による革新的CO2分離回収技術の開発」における実ガス実証	エア・ウォーター、戸田工業
CO ₂ の路盤材への固定化実証	前田道路
フィルム型ペロブスカイト太陽電池実証設備	積水化学工業
エネルギーマネジメントシステム	きんでん、Mutron、ミックウェア
サステナドーム	鹿島建設
合成燃料による車両走行実証(仮称)	ENEOS
万博サーキュラーマーケット ミャク市！（リユースマッチング）	大和物流、メイナーズジャパン、石坂産業、大栄環境、ダイキン工業、みずほリース、浜屋、JEMS、大和ハウス、TREホールディングス、日本通運
水素サプライチェーンモデル	NTTアノードエナジー、パナソニック
静けさの森	黒田緑化事業団
森になる建築	竹中工務店



グリーン万博 協賛事業の紹介

CO₂吸収路盤材 (前田道路)



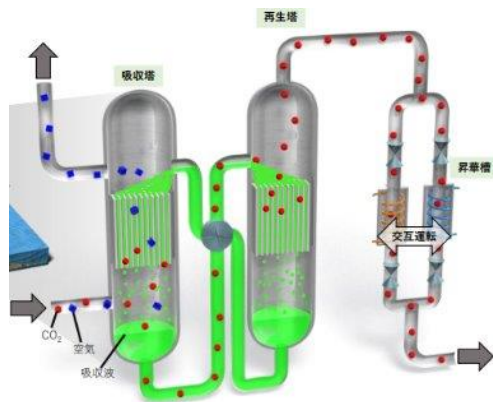
情報発信ステーション (関西電力)



合成燃料による車両走行実証試験 (ENEOS)



冷熱を活用するDAC連続試験装置 (名古屋大学)



DAC-U装置稼働実証 (九州大学)



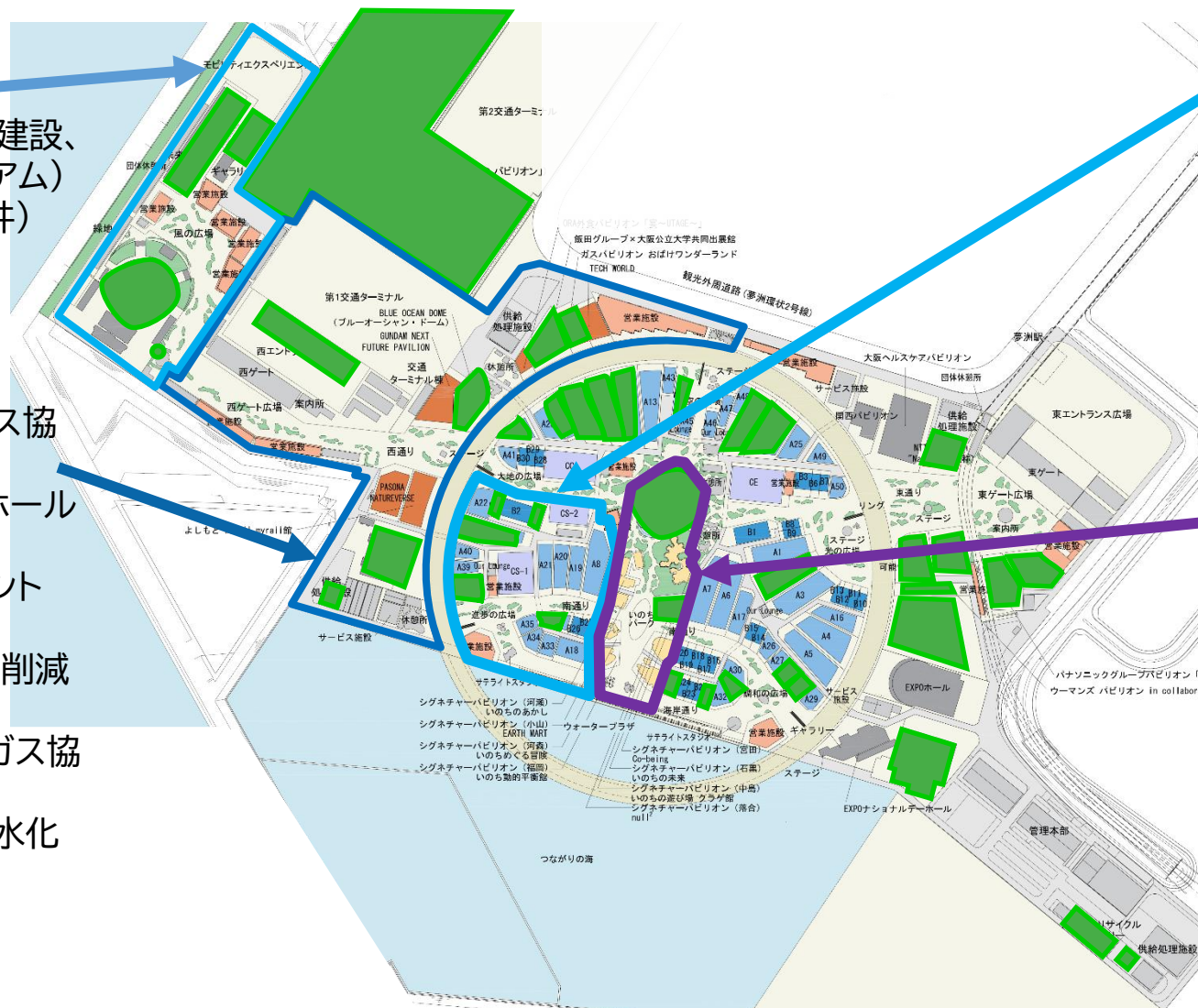
グリーンビジョンの実現に寄与する取組み、展示（脱炭素 会場西側）

フューチャーライフゾーン

- ❑ CO₂吸収コンクリート(鹿島建設、竹中工務店、CPコンソーシアム)
- ❑ 水素生産船の展示(商船三井)
- ❑ ジュニアSDGsキャンプ

西ゲートゾーン

- ❑ メタネーション展示(日本ガス協会)
- ❑ 人工光合成(飯田グループホールディングス)
- ❑ CO₂吸収コンクリート(イベントメッセ 鹿島建設)
- ❑ 建築資材の選定によるCO₂削減(ゼリ・ジャパン)
- ❑ 放射冷却素材の採用(日本ガス協会)
- ❑ ペロブスカイト太陽電池(積水化学工業)
- ❑ 帯水層蓄熱



セービングゾーン

- ❑ 合板、CLTパネルによるCO₂の固定化(チリ)
- ❑ 認定されたサプライチェーンから供給された木材での建築(イタリア)
- ❑ 洋上風力の紹介(オランダ)
- ❑ 帯水層蓄熱(オランダ)
- ❑ 水素 展示、ビジネスマッチング(オランダ、イタリア、ポーランド、アルジェリア)

シグネチャーゾーン、静けさの森

- ❑ 建築設計による省エネ(石黒館)
- ❑ 静けさの森(黒田緑化)

夢洲会場内

- ❑ EVバス(関西電力、大阪メトロ、大林組、ダイヘン)
- ❑ 水素燃料電池で駆動する自動販売機(コカ・コーラ、富士電機)
- ❑ SDGsの情報発信(関西電力)
- ❑ エネマネ(きんでん)

グリーンビジョンの実現に寄与する取組み、展示（脱炭素 会場東側）

コネクティングゾーン

- ❑ 水素燃料電池(韓国)
- ❑ 構造用竹材の使用(ドイツ)
- ❑ 焼却される農業廃棄物由来の建材(UAE、オーストラリア)
- ❑ 現場環境に合わせた空調設計、管理(ドイツ、スペイン)

エンパワーリングゾーン

- ❑ 建築設計、材料選定による省エネ(フランス、バーレーン、アイルランド)
- ❑ 合板、CLTパネルによるCO₂の固定化(チェコ、スイス)
- ❑ 建築設計による工期短縮(コロンビア)
- ❑ 教育プログラム、展示(北欧5か国)

夢洲会場外

- ❑ リニューアブルディーゼル(伊藤忠エネクス、大林組)
- ❑ 合成燃料(ENEOS)
- ❑ EVバス(大阪市高速電気軌道)
- ❑ メガソーラー
- ❑ 水素発電(関西電力)、アンモニア発電(IHI)
- ❑ 水素燃料電池船(岩谷産業)



東ゲートゾーン

- ❑ グリーン水素製造、輸送、水素燃料電池(NTTアノードエナジー、パナソニック)
- ❑ 合板、CLTパネルによるCO₂の固定化(住友)
- ❑ ペロブスカイト太陽電池(パナソニック)
- ❑ 建築設計、材料選定による省エネ(三菱)
- ❑ 植林体験(住友)

管理エリア

- ❑ DAC(RITE、九州大学、名古屋大学)
- ❑ CCS技術の展示(RITE)
- ❑ CLT折板構造のガイダンス棟(RITE)
- ❑ メタネーション設備(大阪ガス)
- ❑ CO₂吸収路盤材(前田道路)
- ❑ CO₂回収装置(エア・ウォーター、戸田工業)



EXPOグリーンチャレンジアプリの取り組みについて



- 「万博をきっかけ」としてCO₂削減につながる行動変容を促す活動を展開
- この活動が「万博のレガシー」と残るように啓発を実施。
- 個人の取り組みとして脱炭素行動(チャレンジメニュー)を7つ設定。
- メニュー実践後、取り組みログ及び活動に対するポイントをアプリで記録。
- 集めたポイントでプレゼント抽選に応募。
- 会期中、会場内にて取り組めるチャレンジメニューを検討中。



【チャレンジメニュー】



家庭系廃食用油回収



マイボトル



食べ残しゼロ



ごみ拾い



省エネ行動



旅行



マイ歯ブラシ

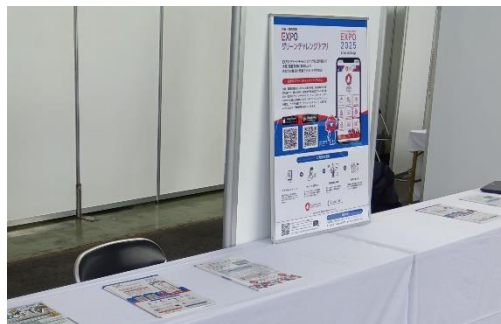


プレゼント
抽選



アプリ啓発などイベントの様子

クルマ × 環境
(2024.10.24)



おおさかもんまつり
(2024.11.9~10)



SDGsユースアクションEXPO
(2024.11.10)



廃食油回収イベント
(2024.11.22)



廃食油回収イベント
(2024.11.12)



脱炭素経営WEEK
(2024/11/20~22)



今後のイベント出展予定

- 1月 大阪府アプリ啓発イベント (グランフロント大阪)
- 2月 大阪府アプリ啓発イベント (グラングリーン大阪)



グリーンに関する機運醸成について

■これまでの取組、進行中の取組

- ・ EXPOグリーンチャレンジアプリの展開 [報告あり]
- ・ EXPOグリーンチャレンジアプリについての大阪府との連携
- ・ クレジット提供の呼びかけ
- ・ ユースが参加した会場内ガイドマップの作成
- ・ カーボンリサイクルファクトリーの取組み紹介

■今後の検討、取組

- ・ EXPOグリーンチャレンジアプリについての行政機関等との連携
- ・ グリーン打ち出しイベント [報告あり]

